

定例会見(平成24年7月25日 17:00～17:50)

議事次第

定例会見 代表取締役社長 菅原 秀夫

会見内容

1. 最近の通行台数状況
2. 横浜環状北西線の都市計画事業認可
3. 環状第2号線整備に伴う八重洲線長期通行止
4. 湾岸線多重追突事故(平成24年7月11日)に対する対策
5. 山手トンネルにおける温度上昇抑制対策の試験実施
6. 防災訓練の実施
7. 技術コンサルティング事業の展開
8. 海外事業について
9. 環境への取組み
10. 関連事業最近の取組み
11. 「改善」の取組み～質の高いサービスの提供を目指して～
12. 開通50周年記念事業について
13. 首都高速道路の技術に関する平成23年度の受賞

質疑応答

1. 最近の通行台数状況

1. 最近の状況

- ・4月、5月の前年同月比はプラスとなっている。これは昨年が東日本大震災の影響により通行台数が少なかったためである。6月以降は前年を下回っている。

	4月	5月	6月	7月※1
通行台数(台/日)	944,803	925,988	950,987	967,948
前年同月比※2	104.3%	102.8%	98.2%	98.9%

2. 通行台数の推移

- ・3月、4月、5月は、昨年が東日本大震災の影響などがあつたため増加している。



※1 7月は1日～21日の平均台数(速報値)

※2 比較を可能にするため、H23.12以前の通行台数を料金圏撤廃と仮定。

1. 最近の通行台数状況

3. 距離別料金移行後の交通状況

【速報(5月平日)】

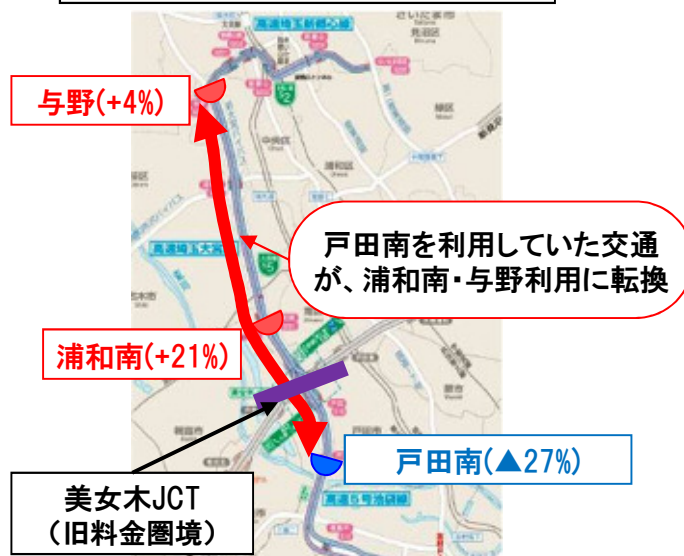
○ 料金圏撤廃による利用台数の変化

○ 利用台数(旧料金圏境の断面交通量)(平日(月～土))

	地点	移行前(H22)	移行後(H24)	対前年比
旧東京線－旧埼玉線 断面	美女木JCT付近	27,500台/日	32,700台/日	+19%
旧東京線－旧神奈川線 断面	羽田および浮島付近(合計)	129,600台/日	143,500台/日	+11%

○ 旧料金圏境における交通量の変化(平日)

【旧東京線-旧埼玉線 断面】



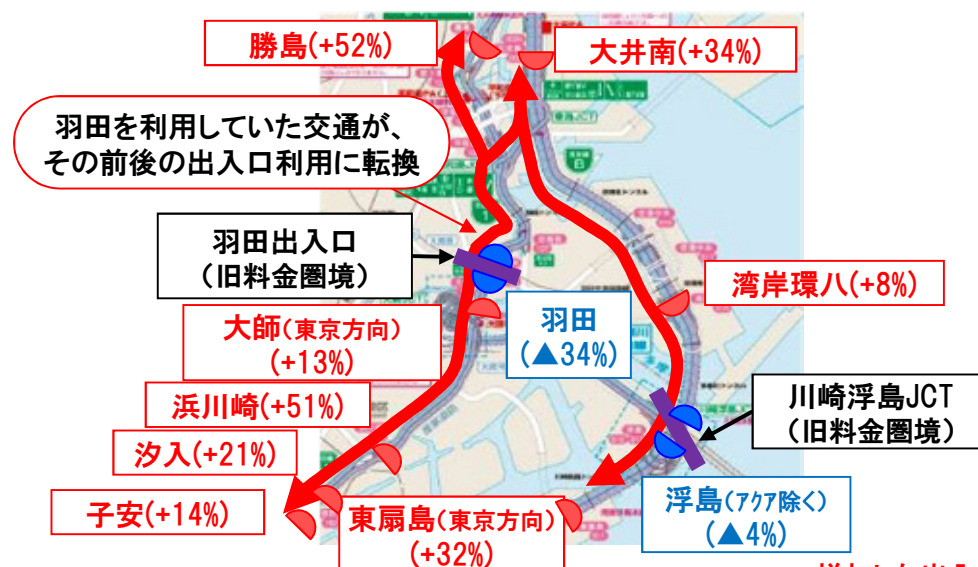
【出典】

車両感知器データ

【移行前(H22.5) : 平成22年5月平日(月～土)平均】

【移行後(H24.5) : 平成24年5月平日(月～土)平均】

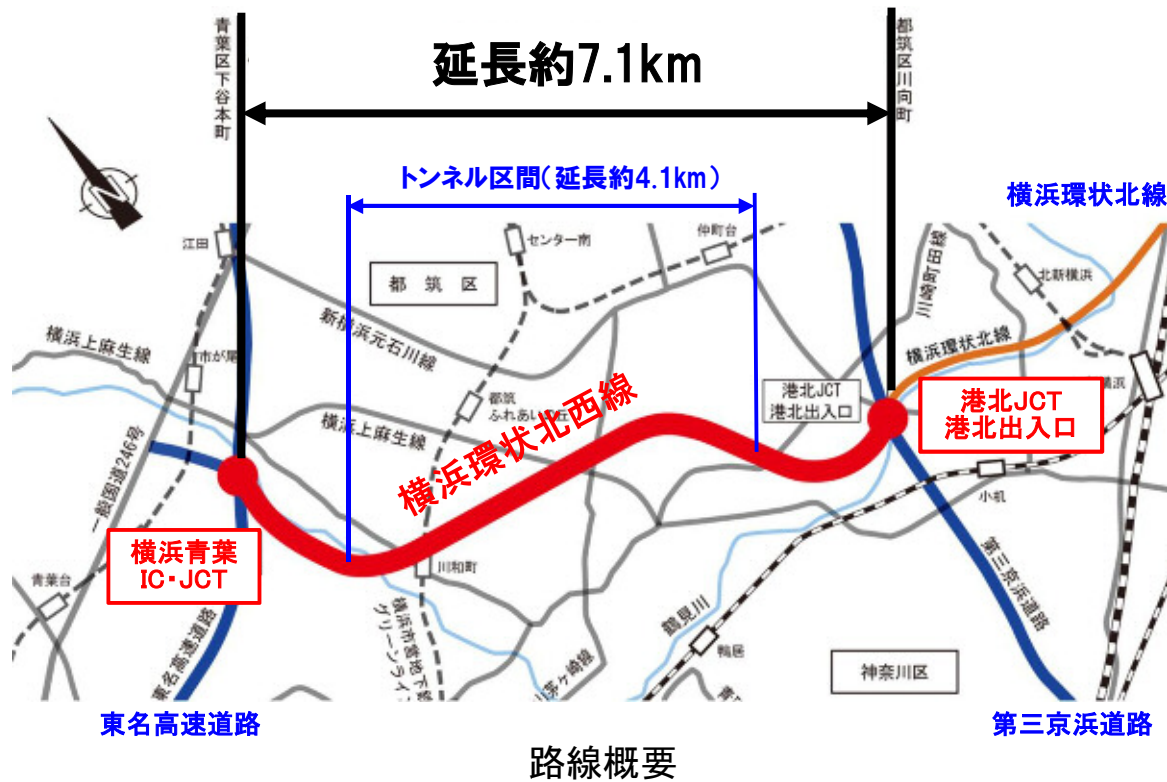
【旧東京線-旧神奈川線 断面】



増加した出入口
減少した出入口

2. 横浜環状北西線の都市計画事業認可

- 横浜市の公共事業と首都高速の有料道路事業を組み合わせた一体的な事業方式
- 今般、神奈川県知事より都市計画事業認可を7月10日に受け、8月下旬より事業説明会を実施予定

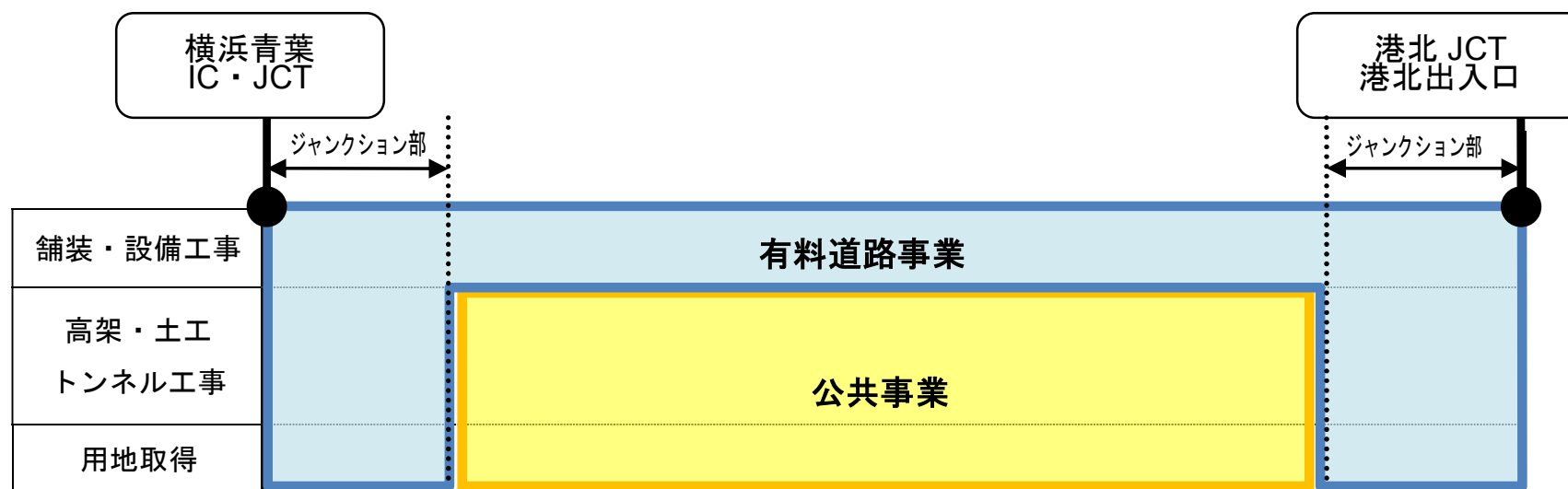


- 横浜環状北線と一体となって横浜港と東名高速道路を直結し、背後圏との結びつきが強化されることにより、国際競争力が向上
- 事故や災害で保土ヶ谷バイパス、東名高速道路で通行止めが生じても北西線が「う回路」となり、道路ネットワークの信頼性が向上

2. 横浜環状北西線の都市計画事業認可

○横浜市による公共事業と、会社による有料道路事業により事業を行う

《公共事業と有料道路事業の事業区分》



※ 図表中の IC（インターチェンジ）、JCT（ジャンクション）、出入口の名称は仮称です。

工事予算:2,200億円(公共事業:1,150億円、有料道路事業:1,050億円※)

※料金徴収施設費(24億円)を含む

3. 環状第2号線整備に伴う八重洲線長期通行止

- 東京都の都市計画事業である東京都市計画道路環状第2号線(以下、環状第2号線)整備のため、首都高八重洲線(北行き・南行き)一部区間の架替工事を実施。
- これに伴い、汐留出入口と新橋出入口間の長期通行止めを、7月8日(日)午前6時から開始。
- この通行止めは、環状第2号線の地下トンネル方式での整備に伴い、首都高八重洲線の一部区間において橋脚橋梁が支障となるため架け替えが必要となることによるものである。



環状第2号線計画



通行止め区間

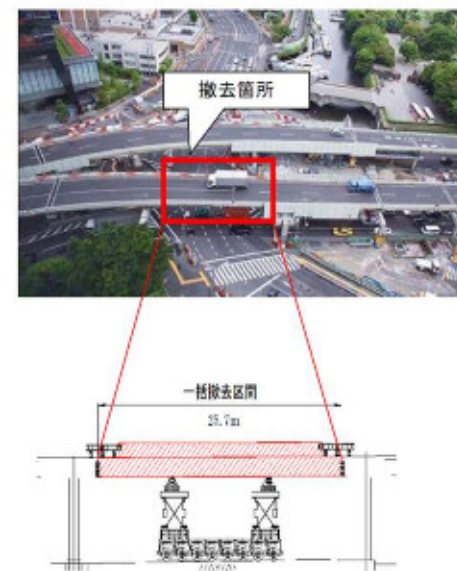
3. 環状第2号線整備に伴う八重洲線長期通行止

- 事前広報により、通行止め期間中は都心環状線への迂回をお願いしているが、八重洲西駐車場や日本パーキングセンターをご利用されるお客様のために、汐留～新橋間で街路を経由した乗継も可能としている。
- 通行止め開始後、都心環状線への迂回に伴う渋滞は発生していない状況。
- 通行止め期間は、平成26年2月までの約20ヶ月間を予定しているが、通行止め期間の短縮に向けた検討を進める予定である。

＜八重洲線の桁撤去現場の公開について＞

- ・首都高八重洲線の一部区間を通行止めして実施している八重洲線架替工事の現場を公開予定。
- ・現場公開では、汐先橋交差点と交差している部分の高架橋が、多軸式移動台車により一晩の間に一度に撤去される様子を見る事が可能。
- ・既設の高架橋を撤去するのは、首都高本線では初めての実施。

公開日時：平成24年7月28日(土)23:45～翌日4:00
(7月20日現場公開プレスリリース済)



4. 湾岸線多重追突事故（平成24年7月11日）に対する対策

事故対策として、文字情報板等による注意喚起、緊急事故防止キャンペーン(大井南PA)のほか、事故現場にてLED搭載車による注意喚起を既に実施し、今後も以下の対策(①～③)を実施予定である。

①注意喚起看板設置



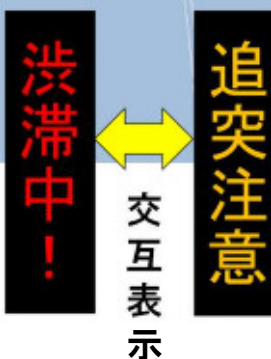
追突注意
車間取れ！

②横断幕設置



死亡事故発生現場

③車両感知器と連動したLED表示板



中央分離帯側に
連続して2箇所設置
「渋滞中」「追突注意」
交互表示

○事故概要

- ・平成24年7月11日(水)14時28分 湾岸線西行 有明JCT付近
東京港トンネルを先頭とした渋滞末尾への追突事故。
トラックやワゴン、大型トレーラー等4台が関係、死亡4名、重傷2名。

5. 山手トンネルにおける温度上昇抑制対策の試験実施について

1. 山手トンネルの状況

平成22年3月28日の開通後、夏季にトンネル内温度が高くなることを確認。

- ・ トンネルの延長が長く、交通量も多いことから、走行車両の排熱等により温度が上昇。
- ・ 特に、交通集中による渋滞発生時にトンネル内温度が上昇する傾向

平成22年夏季より、温度上昇抑制対策として積極的に外気をトンネル内に導入する換気運転を実施。（3～5℃温度低下）

2. 今年への対応

更なる温度抑制を目的に、トンネルの本線内にミスト噴霧設備を試験設置して効果を検証予定。

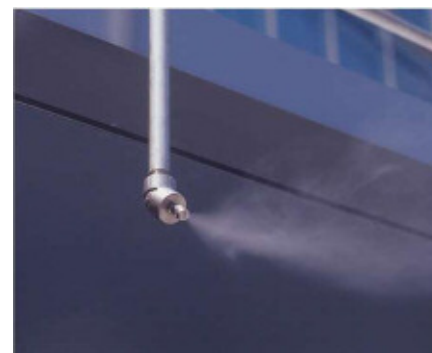
試験箇所：山手トンネル 内回り 富ヶ谷出口～大橋JCT間

試験期間：7月23日～9月末を予定

温度低下：2℃程度（試算値）



ミスト噴霧設備設置イメージ



参考：ミスト噴霧状況写真（メーカー提供）

6. 防災訓練の実施

- ◆ 当社では、東日本大震災によって明らかとなった課題及びその対応策を踏まえ、大地震の発生を想定した業務継続計画（BCP）を見直し、BCP（第2版）を2011年10月末に策定した。
- ◆ 当社では、毎年防災の日（9月1日）前後に防災訓練を実施しており、今年度は8月31日（金）に災害対策本部設置訓練等を行うとともに、下記の公開防災訓練を実施する予定。

<公開内容>

- ・ 転倒車両の引き起こし訓練
- ・ 高所作業車を用いた構造物点検訓練
- ・ 路面段差の応急復旧訓練

<訓練場所>

- ・ 補修基地内



- ◆ 公開防災訓練の詳細については、後日ご案内致します。

7. 技術コンサルティング事業の展開について

【平成24年度の新規受注状況】

- 国内技術コンサルティング事業 ⇒ 平成24年度新規受注件数 : 4件
(参考 平成23年度新規受注件数 : 17件)
※首都高グループの新規受注件数の合計

《受注状況》

件 名	発注者	実施者
平成24年度ゲートブリッジ橋梁点検委託	東京都港湾局	(財)首都高速道路 技術センター
平成24年度レインボーブリッジ橋梁点検調査委託	東京都港湾局	
舞浜入路巡回点検業務	浦安市	首都高技術(株)
水神大橋耐震補強詳細及び概略設計	東京都建設局	

※ 他1件契約手続き中(特定済)【(財)首都高速道路技術センター】

- 建物耐震診断業務 ⇒ 平成24年度新規受注件数 : 7件
マンション : 2件
事務所・店舗ビル : 5件
(参考 平成23年度新規受注件数 : 4件)

8. 海外事業について

(1) 海外展開基本方針

都市内における高速道路の計画・建設・運営により積み上げてきた各種技術やノウハウを活用し、
ー道路事業に係る国際貢献を推進
ーコンサルタント事業など収益事業へ参画

(2) 海外からの視察・研修受入

平成23年度は、20ヶ国から250名の要人や研修生の視察や研修を受け入れたが、今年度も引き続き積極的に受け入れを行う。

(3) 海外コンサルタント業務（平成24年度 新規受注案件）

平成22年からタイ、インドネシア、ベトナム、ミャンマー等で海外コンサルタント業務を実施。これまでに6件の業務が完了し、今年度は5件の継続実施中の業務に加え下表の3件を新たに受注。

相手国	発注者	プロジェクト名	工期	受注者	当社 担当内容
フィリピン	JICA	メガマニラ圏ITS高規格道路ネットワーク強化プロジェクト (開発計画調査型技術協力)	平成24年6月 ～平成25年7月	建設技研・オリコン・ 首都高・三菱総研JV	高速道路 ITS/ETC
フィリピン	JICA	環状3号線建設事業準備調査	平成24年7月 ～平成25年12月	片平・オリコン・大日 本・首都高JV	道路設計 (路線計画)
インドネシア	経産省	第2ジャカルタ・チカンペック 高速道路事業化調査	平成24年8月 ～平成25年2月	オリコン・JEXWAY・ 首都高・Nexco西JV	道路設計 (路線計画)

9. 環境への取組み

◆「7つの環境への取組み」の策定

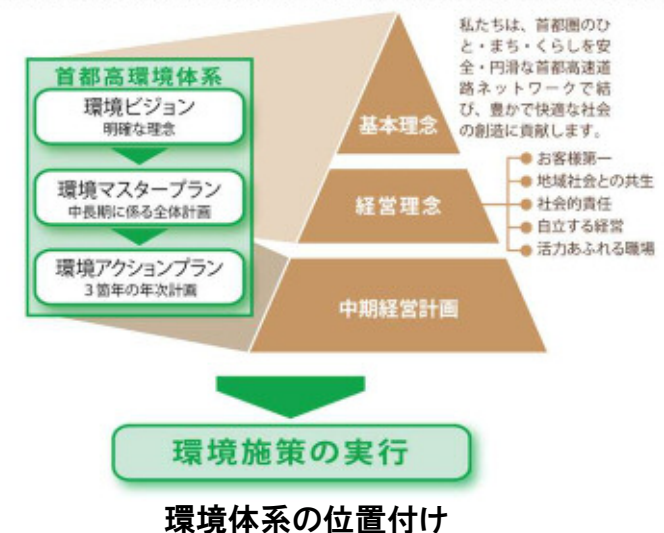
- ・首都高を取りまく社会情勢の変化に対応し、今後、どのように環境に向き合うべきかについて「環境体系」を構築し、整理・体系化した。
- ・この中で、首都高がお客様や地域の皆様のご期待に応え、広く社会から求められる存在となるため、以下の「7つの環境への取組み」を定め、着実に推進することとした。

- ① 交通円滑化による環境改善
- ② 走行空間の快適性の向上
- ③ 沿道環境の保全・改善
- ④ 都市景観との調和と創出
- ⑤ 新たな環境への取組み
- ⑥ 環境コミュニケーションの展開
- ⑦ 環境マネジメントの推進

環境体系とは

- ・環境体系は以下の3つから構成され、首都高の基本理念、経営理念、中期経営計画を環境面から具現化したものである。

- ① 環境ビジョン（環境に取り組む理念）
※ 環境ビジョンアドバイザー会議(委員長 涌井史郎 東京都市大学環境情報学部教授)による審議を経て平成23年6月に策定。
- ② 環境マスタープラン（中長期に係る全体計画）
※ 首都高が取り組むべき「7つの環境への取組み」を策定。
- ③ 環境アクションプラン（3箇年の年次計画）
※ 平成24～26年度の実施すべき環境施策を取りまとめ。



9. 環境への取組み

◆ 平成24年度 首都高の環境イベント予定

	時 期	イベント	場 所	内 容	マスコミ各社へのご案内
おおはし 里の杜	9月18日	おおはし里の杜・稲刈り体験	大橋ジャンクション	地域の小学生による稲刈り体験	○
	10月9日	おおはし里の杜・脱穀体験	大橋ジャンクション	地域の小学生による脱穀体験	
見沼たんぼ 首都高ビオトープ	9月	見沼たんぼ首都高ビオトープ・自然観察会	見沼たんぼ 首都高ビオトープ	地域の幼稚園児による自然観察会	
	10月21日	見沼たんぼ首都高ビオトープ・学生実習	見沼たんぼ 首都高ビオトープ	大学生による植栽樹の移植等	
	10月26日	見沼たんぼ首都高ビオトープ・学生実習	見沼たんぼ 首都高ビオトープ	専門学校生による植栽樹の移植、 カワセミ営巣用土塁の修繕等	
	H25年 1～2月頃	ハンノキ・プロジェクト植樹式	見沼たんぼ 首都高ビオトープ	ビオトープにハンノキを植樹(埼玉県 の蝶・ミドリシジミを呼び戻すプロ ジェクト)	○
イベント	8月30日	エコバスツアー	大橋ジャンクション 他	首都高のエコを巡るバスツアー	
	12月13 ～15日	エコプロダクツ2012	東京ビッグサイト	【イベント出展】 首都高の環境への取組みを紹介	○

※時期、イベント内容等は都合により変更することがある。

10. 関連事業最近の取組み

1. “パーキングでアート”(第3弾)

パーキングエリア等の快適性向上と若手の芸術活動支援を目的とした「パーキングでアート」。
第3弾は、写真専門学校(①学校法人呉学園日本写真芸術専門学校、②学校法人専門学校東京ビジュアルアーツ)と4か所のパーキングエリアで“写真展”を開催。
首都高開通50周年にちなんだ写真を各パーキングエリアに展示する。

○テーマ：首都高開通50周年

○期 間：平成24年8月10日(金)から平成24年11月8日(木)まで

○場 所：用賀PA、市川PA、芝浦PA、大黒PA

○内 容：首都高開通50周年にちなんだ課題を各校にて設定し、学生が撮影した作品を展示



パーキングでアート

これまでの取組み

* 第1弾 *

開催場所：代々木PA

開催期間：平成23年9月12日
～平成23年12月12日

テ ー マ：PARKING
～PARKINGからPARKへ～

アーティスト：学校法人多摩美術大学



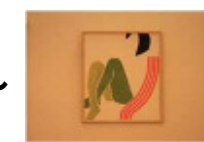
* 第2弾 *

開催場所：与野利便増進施設内

開催期間：平成24年1月5日
～平成24年3月25日

テ ー マ：作品が住む
～美術があそぶ住宅2012～

アーティスト：学校法人多摩美術大学



10. 関連事業最近の取組み

2. カーシェアリング事業者との業務提携

カーシェアリング事業者大手3社(カーシェアリングジャパン(株)、タイムズ24(株)、オリックス自動車(株))と平成24年6月29日に業務提携を行い、各種会員へのサービス斡旋や、カーステーション※1の更なる誘致などを通じてカーシェアリング事業の普及促進に協力する。

〔入会キャンペーン(第1弾)の概要〕

- 期 間:平成24年7月13日～平成24年9月30日
- 対象者:「首都高メールマガジン会員等※2」限定!
- 内 容:入会金、カード発行手数料等の初期経費を無料!
入会した方の中から抽選で合計15名様にトートバッグ(はたらくトート)をプレゼント!

※1カーステーション設置済み駐車場 汐留パーキング3台、日本橋兜町パーキング7台、日本橋本町パーキング4台、千駄ヶ谷パーキング4台

※2 首都高メールマガジン会員、首都高カード会員、イオン首都高カード会員



〔カーステーション設置イメージ〕

3. Newショップ オープン

①7月11日(水)、西新橋に韓国料理店をオープン!

- ・店 名: 韓国料理 MUN(ムン)
- ・営業時間: 月～金 11:00～14:30 / 17:00～23:30
- ・運 営 者: 首都高速道路サービス株式会社

※くわしくは、配布チラシをご参照ください



〔店舗入口〕

②7月27日(金)午前10時、大黒PA本館2階に輸入生活雑貨店がオープン!

- ・店 名: TREASURE HUNT(トレジャーハント)
- ・営業時間: 平日 10:00～21:00 / 土日祝 10:00～21:30
- ・主な商品: 輸入生活雑貨、ファッション雑貨、コスメ等



〔店舗イメージ図〕

1 1. 「改善」の取組み ～質の高いサービスの提供を目指して～

首都高速道路(株)では、「お客様第一」の経営理念に基づき、お客様にご満足いただける質の高いサービスの提供を目指している。

「お客様の声」による改善

ホームページに設けた「グリーンポスト」や、電話でのお問合せ窓口「首都高お客様センター」を通じて、お客様の声をお聞きし、貴重なご意見を基に改善を実施
平成24年1月～6月は、お客様から頂いたご意見を基に129件の改善を実施

1 1. 「改善」の取組み ～質の高いサービスの提供を目指して～

改善事例（１）

（お客様の声）箱崎ロータリーの出口や行き先がわかりにくい

（場 所）⑥向島線箱崎ロータリー

（対応策）南側と北側コーナー部の方向案内看板をわかりやすい表現に改修
清洲橋出口に「ここは出口です」という出口案内看板を設置

①方面案内看板（南側）



対策後



②方面案内看板（北側）



対策後



③出口案内看板



対策後



1 1. 「改善」の取組み ～質の高いサービスの提供を目指して～

改善事例（２）

（お客様の声）二輪車駐車ますに車が駐車していて、バイクがとめられなくて困る

（場 所）⑥三郷線（下り）加平P A

（対応策）二輪専用の駐車ます入口に車が駐車することが無いようポストコーンを設置



対策後



1 1. 「改善」の取組み ～質の高いサービスの提供を目指して～

改善事例（3）

（お客様の声）交差点手前は右折二車線であるが、左側車線に偏って車が滞留するのでしばしば渋滞する

（場 所）⑦小松川線（上り）錦糸町出口

（対応策）右折二車線のうち右側にも車を誘導するため、右側が主流となるように区画線を改良した



対策後



1 2. 開通50周年記念事業について

首都高は、1962年(昭和37年)12月20日に1号線京橋～芝浦間約4.5kmが開通し、本年で開通50周年を迎える。平成24年度は開通50周年の実施期間として、各種イベント等を順次、展開する。

1. イベント関係

○フォトコンテスト『首都高のある風景50選』

- ・ 首都高速道路の地域や街並みとマッチした姿、四季折々の風景、思い出の首都高など様々な姿を題材とした写真を募集
- ・ 募集期間は、平成24年7月30日(月)～9月28日(金)
- ・ 本コンテストでは、「コンテスト部門」、「ノスタルジック部門」の2部門を設け、「首都高のある風景50選審査委員会(委員長:熊切圭介氏(社)日本写真家協会副会長)」による審査を経て、グランプリ等の各賞を贈呈予定
- ・ 入賞作品は、社内、社外の広報物への展開を行う予定
- ・ 明日、7月26日プレスリリース予定

《イメージ》

都心環状線と千鳥ヶ淵の桜



首都高と東京スカイツリー



1 2. 開通50周年記念事業について

○首都高講座(50周年特別版)の実施

- ・ 首都高がつなぐ「陸」・「海」・「空」のテーマに基づき、首都高と関係のある企業とコラボレーション企画を検討中(全3回を予定)
- ・ 第一弾として「首都高」がつなぐ世界の「空」へと題し、8月23日(木)に成田国際空港株式会社とコラボレーションし、「空」と「陸」が管理する施設を特別公開する。
- ・ 7月2日発行の首都高News7・8月号にて小学生と保護者15組(30名)を募集中
- ・ 今後は、「陸」、「海」をテーマとした首都高と関係のある企業とのコラボレーション企画を計画中

《実施イメージ》

首都高 交通管制室



成田国際空港(株)



1 2. 開通50周年記念事業について

2. 社会貢献活動

○首都高子ども支援プロジェクト「東京へようこそ1泊2日ツアー」

東日本大震災の被災地(宮城県石巻市)の小学生を夏休み(8月20日(月)～21日(火))に20組40名を東京へ招待し、首都高施設等を案内するツアーイベントを開催する。

なお、今後も他の被災地の小学生の招待を検討する。

主催:首都高(株)と(財)首都高速道路協会

運営サポート:フューチャーイノベーションフォーラム(略称:FIF)

※ フューチャーイノベーションフォーラムは、2006年度に発足し、フューチャーアーキテクト株式会社を幹事会社に多くの協力企業とともに小・中学生を対象とした職業体験プログラムや小学校への出張授業等を行っている団体。弊社も3月27日に『首都高最前線』として交通管制室等の見学を交えた職業訓練を実施した。



《開催イメージ》
交通管制室



中央環状品川線(大橋連結路)



おおはし里の杜



※ 当日のご取材については、直前にご案内を予定

1 2. 開通50周年記念事業について

3. 記念ロゴマーク・キャッチコピーの決定

開通50周年を迎えるにあたり、記念の「ロゴマーク」と「キャッチコピー」を決定

今後、弊社が展開するイベント、広報物等に活用

① ロゴマーク

ロゴマークは「開通50周年」の「50」と首都高ネットワークを表現している。

複雑ながらも精密に重なり合う首都高のジャンクション部をイメージしていると同時に、「末永いお付き合いを願う」という意味を持っている「あわじ結び」に見立てたデザインとなっている。

また、このロゴマークは、弊社が行う産学連携事業の一つとして東京藝術大学のご協力により制作されたもの。



1 2. 開通50周年記念事業の展開

② キャッチコピー

「東京がいちばん見える道。」

首都高の「良さ」を表現するキャッチコピーを雑誌『宣伝会議』誌上で公募し、応募総数4,337点の中から企業賞に選ばれた「東京がいちばん見える道。」をキャッチコピーに選定した。

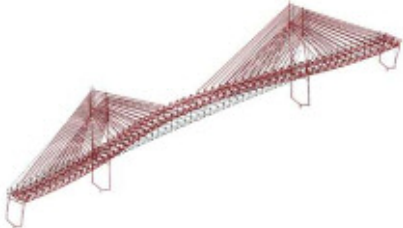
キャッチコピーのイメージは、首都高のふだんは気が付かない魅力表現している。



1 3. 首都高速道路の技術に関する平成23年度の受賞について

首都高速道路の技術に関して、土木学会環境賞（Ⅰグループ）、土木学会田中賞（論文部門）、土木学会論文賞、全建賞の各賞を受賞した。

受 賞 一 覧

	表 彰 名	受 賞 事 業 ・ 技 術
1	(社)土木学会 環境賞（Ⅰグループ） 表彰日：平成24年6月14日	首都高速中央環状線大橋換気所屋上の 自然再生緑地「おおはし里の杜」の整備・管理 
2	(社)土木学会 田中賞（論文部門） 表彰日：平成24年6月14日	横浜ベイブリッジの耐震補強設計における 鋼上部構造を対象とした性能照査 
3	(社)土木学会 論文賞 表彰日：平成24年6月14日	泥土圧シールドにおけるチャンバー内の 土砂流動管理技術の開発 
4	(社)全日本建設技術協会 全建賞 表彰日：平成24年6月29日	横浜ベイブリッジ・レインボーブリッジ・ 鶴見つばさ橋耐震性向上事業 